

表紙に使用している画像は、小川和紙の「落水紙」です。落水紙は、漉きあがった時点で紙に水滴を垂らし、小さな穴を開けてつくりまします。穴を開けることで、涼しげな印象に仕上がります。



P.3

5月から 配信スタート

P.4

一般質問に 12人が登壇

議員のつぶやきにも注目



屋台引き回しと小川祭ばやし

No.88
お

が

2018
夏号

6月定例会



埼玉県小川町議会

わたしのひとこと「だから小川が好き」

大澤実結花さん
大学のサークル
が掲げる指針に
感動し、入部し
ました。

小森 喬さん

経験を活かして
ボランティア。
さまざまな支援
の輪が広がれば
なあ。

Mini Column

P.2~

小川町に 必要なもの

14

町民の
人つぶやき



6月定例会から 質疑 Pick UP!

5月に行なわれた小川町長選挙により、例年よりも約1カ月遅れで開会された6月定例会。2期目がスタートした松本町長から提出された議案は、平成30年度一般会計補正予算ほか、専決処分を含む議案6件。「熱い夏」とは裏腹に、穏やかな議場となりました。(毎号、この2〜3ページには定例会の目玉となる議案や、予算・決算などタイムリーな内容の特集として掲載していますが、ページ数の制限から今回は特集を見送りました)

Main question Pick up

平成30年度

一般会計補正予算に関する質疑

吉田家住宅

Q 重要文化財保存で、今後町の負担がどんどん増えていくのでは。

A 国・県の補助金の残りの部分は町の負担で補助をしています。今後も活用できる補助金を模索していきます。

コソット

Q エレベーター保守管理委託料は、当初予算に入っていないかったのか。

A 保守等の保障期間は3カ月のみでした。保守契約に関して解釈に誤りがあり、3カ月の期間が終了するこの時期での補正になりました。

人権指導研修費

Q 歳入の減額補正の理由は。

A 県から毎年4つの自治体を対象に、補助金が出ています。申請をしていましたが、前年度に続く採択とはなりませんので、大切な人権に関することです。事業は継続していきます。

集約都市形成支援事業

Q 補助金減額の理由は。

A 全国で計画を策定している自治体が多くなってきた流れの中で、国の補助金を満額もらうことが困難になってきています。引き続き努力をしていきます。

防災倉庫

Q 防災事業費修繕費の内訳は。高谷にある防災倉庫の敷地門扉の戸車が6月に突然壊れて



防災倉庫の戸車の故障は、あってはならないことであった。近年発生している激甚災害は、全国どこでも起こりうる。災害対策の充実が急務である。日常の点検を欠かさずに行ない、万全の体制を整えてほしい。

しまいました。老朽化もあり、戸車交換と塗装を行なう費用です。

条例改正等に関する質疑

法人固定資産税の優遇

Q 条例で税率をゼロとする理由と実施期間は。

A 町内、中小企業の設備投資を誘導し、地域経済の活性化を目指しつつ、政府の各種補助金の優先採択を促すためです。期間は3年で終了となります。

税条例の一部改正

Q 新築住宅に係る減税措置の2年延長だが、現在の控除対象者も適用されるのか。

A 今年度、新築された方から対象となります。

Q 国民健康保険税の基礎課税額に係る限度額を、54万円から58万円にすることによる対象者は。

A 5割軽減措置については、19世帯増です。また2割軽減措置では、27世帯増です。

リリックの改修

Q 過去の大規模工事において延期や設計の見直しが起きているが、本契約の管理体制は。

A 過去の経験を生かし、万全の管理をしていきます。

Q 大ホールは改修対象ではないが、今後についてどのように考えるのか。

A 利用状況を考慮しつつ、今後の対応を検討しています。

議会構成の変更 (7月2日付)

下記のとおり議会構成に変更がありましたのでお知らせいたします。(下線が変更です)

○厚生文教常任委員会

委員長 島崎隆夫 副委員長 高橋さゆり 委員 根岸成美・笠原 武

○議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子 委員 戸口 勝・井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫

○小川地区衛生組合議会議員

松本修三・宮澤幹雄・柴崎 勝・田中照子

賛否が分かれた議案・請願をお知らせします

ミニコラムに寄せられた町民の方のご意見を反映し、議員ごとに破線を入れました

議案名・請願名	議員名	審議結果	笠原 武	井口 亮一	笠原 規弘	田中 照子	山口 勝士	高橋 さゆり	松葉 幸雄	金子 美登	島崎 隆夫	戸口 勝	大戸 久一	柴崎 勝	宮澤 幹雄	根岸 成美	松本 修三
日本国憲法第九条の改正の発議について、慎重に取り扱うよう求める請願		不採択	○ 討	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	—

※ (○は賛成、×は反対、欠は欠席、討は討論) 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

スマホで議会だよりを見ちゃお!



無料アプリ「マチイロ」で「おがわぎかい」を簡単登録

イベント・災害・子育て・広報紙などなど、県や町の行政情報を見逃さず、必要な情報をゲットしちやいましょう。



(I・Iさん・56歳)

「災害が少ない町」のアピール

ショッピングモール



(Y・Fさん・60歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう

「小川町に必要なもの」

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



手をつないで歩けるまちづくりって、いいよね。

とぐち まさひろ
戸口 勝が問う

小川町駅周辺整備の実現を

Q 駅周辺再開発における、補助金の方向性は。

A 都市政策課長 北側周辺整備では、社会資本整備総合交付金を活用し、まちづくり交付金、または都市再生構築戦略事業を考えていますが、今後を見据え、より有利な交付金活用の実施をしたいと考えています。

Q 高齢者の割合が多いことから、歩いて外出する機会を増やす場所づくりが必須である。歩道の整備や空き店舗の活用が急務の課題であるが。



歩道の整備が待たれる大関町通り。

A 都市政策課長 今年度は、相生町交差点から晴雲酒造付近までの約100メートルの歩道部の平坦化を目的とする工事を予定しています。引き続き県と粘り強く協議を行ない、歩道の整備をしていきたいと思っています。また、空き店舗の解消を図り、商店街のにぎわいの創出・活性化に取り組んでいきます。

Q 懸案事項でもある大関町通り、ヤオコー通りに高齢者・若者・子供たちすべての世代が安心して「手をつないで歩けるまちづくり」が必要と考えるが。

A 都市政策課長 議員からの貴重なご提言を受けとめ、実現に向け取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

・松本町長の未来予想図について



町民の意識は高いです。その力を出す施策でしょう。

たかはし
高橋さゆりが問う

健康寿命を延ばすためには

Q 高齢者のフレイル¹予防を進めることが重要と考えるが。

A 長生き支援課長 今年度は特にここに着目し、早期に多角的に介入することです。フレイルの改善を図っていきます。並行して100歳体操をすることで、フレイル予防にも非常に効果があると考えます。

Q 民間での「居場所づくり」が増えているがどのように活用していくのか。

A 長生き支援課長 今後広く周知をし、地域の方が利用に際し行うイベント



定員以上の申し込みがあった自主防災組織リーダー研修会。

等に、講師等の依頼には協力したいと考えています。

災害時における組織強化を

Q 災害時には共助としてボランティアの確保が重要と考えるが。

A 防災地域支援課長 災害時に町・消防署・消防団・自主防災組織が全てに対応することは困難です。ボランティア活動が災害時には重要な役割を担っていることは、阪神・淡路大震災において再確認されたところです。

今後、各種団体との災害時における支援協定の締結や社会福祉協議会との連携強化など、平時からボランティアへの支援要請・確保に努め、いざというときに備えていきたいと考えています。



プリム跡地を自然破壊災害被害にさらしてはならない。

かさはら たけし
笠原 武が問う

メガソーラー建設には一考を

Q まだ太陽光発電建設の許可も下りていないのに、重機持ち込み工事などは許されないのではないか。

A 環境農林課長 昨年11月の重機進入については、調整池の状況確認が行なえるよう事業関係者が事前に場内の作業道の敷の除去作業を行なったものです。この事実を受け、林地開発の許可権者である県の森づくり課から事業者に対し、管理のための作業であっても無断で実施しないよう厳しく口頭で指導を行なっています。これを受けて、今年1月26日に寄居林業



県が設置した不法投棄禁止「監視カメラ作動中」の看板。

事務所、県の森づくり課、県産業廃棄物指導課、そして町では副町長を初め、該当担当職員4名の総勢12名で現地の事実確認をしています。

Q 「住民への周知」を町はすぐにもする必要があるのではないか。早く説明会を持つよう予定業者に行政から働きかけるべきではないか。

A 環境農林課長 事業者の責務として計画の概要が明らかになった時点で、利害関係者を対象とした説明会を開催し、利害関係者の要望に基づく協議を行なうとしています。町としても、このことは重大事項として捉え、事業者に改めて要請していきたいと考えています。

その他の質問

・第2期松本町政の方針の中心は何か

解説 フレイル¹

加齢に伴って心身の機能が低下し、要介護になる恐れが高い状態。要介護になる一歩手前、健康な状態から要介護になるまでの間の状態。

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」



統一感のあるB級グルメってないよね。この際考えては

公共工事



(T・Uさん・62歳)

小川日赤管理棟の新規建設



(T・Tさん・48歳)

学校が避難所になるから災害用備蓄物資もありますよ。



井口亮一が問う

児童生徒の命を守るためには

Q 宮城県の小中学校を巡り、仙台高裁は学校や市の震災前の対応の不備が過失に当たると認定した。当町の危機管理マニュアルに問題はないか。

A 学校教育課長 校長に求められる防災知識は、より高く求められています。当町の各学校で作成している危機管理マニュアルにおいても、防災知識を十分有し、そのことを踏まえて作成されているとは言い切れない部分もあるかと捉えています。教育委員会の指導や支援は、十分行なわれているか。



小川小学校で実施された児童引き渡し訓練。

AQ 民間団体の防災資格取得者から学校管理者への助言は推奨できないか。学校教育課長 防災士会等の民間団体からの指導も有効だと考えます。

A 学校教育課長 国・県からの防災知識に関する情報を適宜・適切に提供するとともに、小川町地域防災計画の修正を受けて、小・中学校防災計画を作成し各学校に配付しました。

AQ 防災地域支援課に適切な支援を求めて連携しているか。

A 学校教育課長 学校が避難所になることを想定しての災害用備蓄物資の配備や避難計画の策定、見直し、Jアラート試験放送とあわせた訓練の実施など防災支援課からの支援を受け、また連携を図る中で実施しました。

まだ？ もつ？ いずれにしても累積赤字は少額です。



笠原規弘が問う

将来負担を見据えた水道事業を

Q 水道施設の現状は。

AQ 上下水道課長 老朽化した水道施設の更新需要が増加しています。耐震診断の結果、青山浄水場の浄水施設が耐震性に劣り、補強で約5億円、新設で約8億円の工事費の試算が出ています。

Q 現在おおむね良好と思われる財務状況だが、人口減を見据えた収支計画と経営戦略を図るべきと考えるが。

A 上下水道課長 総務省が示した「経営戦略策定ガイドライン」にのっと



朝日の中、子供たちの命を見守ってくださるボランティアの方々。

AQ 見守りボランティアの方へ、イタリアダ3レポートの情報提供を望むが。

AQ 防災地域支援課長 事故遭遇率が高い年齢・時間・時期等の傾向を把握することで、より効果的な指導に結びつくと考えます。

AQ 「子どもあんしん110番の家」どのような緊急対応をお願いしているか。防災地域支援課長 看板を設置していただき、①保護②事情を聞く③連絡をする(警察・学校等)④保護者が来るまで保護、の順で対応をお願いします。

認識と理解が深まり家族の介護負担軽減になればなあ。



根岸成美が問う

認知症ケアの取り組みは

Q 町の高齢化率が35%を超え高齢者を巡る課題は、さらに増加の一端をたどっている。一人一人が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できる環境づくりが求められている。実践していることや今後予定している取り組みは。

A 長生き支援課長 認知症支援で重要なことは、早期発見・早期治療がなされるよう医療介護サービスの整備を行うこと、地域において認知症の正しい理解を啓発していくことと考えます。具体的には認知症サポーターの養成、認知症初期集



中学校で実施された認知症サポーター養成講座。

AQ 地域でのフォローアップや優しい連携が不可欠だが。

A 長生き支援課長 認知症サポーターを増やす養成講座等の充実と、町関係課、民生委員、医療機関、金融機関、警察、消防等で組織する町要援護者等支援ネットワークを活用していきます。

中支援チームの設置、認知症サポート医による物忘れ相談、認知症カフェ開催に対する補助金交付等です。今年度から認知症検診、徘徊が心配される方のための見守りシールの交付を開始しました。さらに、フレイル予防に着眼した介護予防教室の中で、効果があると考えられる口腔ケアを取り入れたプログラムを実施する予定となっています。

解説 イタリアダ3

(財)交通事故総合分析センターの略称。交通事故と「人」「道」「車」の調査研究を行ない、分析結果を公開し交通安全思想の普及に努める機関である。

解説 PPP・PFI 2

公共施設の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行なう手法。PFIは数あるPPP手法の一つである。

改めて考えたが、小川高校は活気の面から必要だと思う



(K・Oさん・54歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう

「小川町に必要なもの」

蓄積した経験や知恵こそ宝!



やまぐちかつし
山口勝士が問う

高齢者がまちづくりの中核では

Q 高齢者がいきいきと活躍するまちづくりを考えると「高齢者に元気に活動してもらう」ではなく「高齢者こそ町の中核」という元気な町をつくりたいが。

A 長生き支援課長 22年後には65歳以上が5割程度になることを見据えたとき、今から「高齢者が支える町」を目指すべきと考えます。県では「地域活躍施策」として、積極的に地域デビューを推進するための取り組みやモデル事業も実施しています。当町でも今後、高齢者が蓄積した経験や知恵をまちづくり・地域づくりに生か

せる事業を、課を越え連携して展開していきたいです。

小中学校教育の充実を

Q 今後のまちづくりにおける学校の統廃合など、「すぐれた教育」環境づくりを抜本的に考えるときは。

A 学校教育課長 今後の学校のあり方は、町の重要課題の一つであると捉えています。「子供たちの教育にとつてどんな学校がよいか」という視点で、小中学校のあり方の改革に向けて取り組んでいます。現段階でどこまでという期限設定はしていないのか。

A 学校教育課長 大変重要な問題だと捉えています。明確にどこまでにするという計画は立っていません。



県では高齢者の活躍を応援する、さまざまな冊子を発行しています。

分校のたたずまいは外からの人に評判がいいですよ。



かねこよしのり
金子美登が問う

旧下里分校の今後については

Q 旧下里分校は廃校後、NPO法人「霜里学校」が管理を請け負い、さまざまな活動をしているが、町はどう評価しているのか。

A 政策推進課長 霜里学校の活動は「有機野菜塾」や「マイ米田んぼ」の開催、貸し農園「桜ファーム」の運営をはじめ、大学や企業との連携事業への参画や本年度で4回目を迎えた「下里さくら祭り」で約3500人の来訪者を集める等、認知度も上がっている。さらに、国の地方創生事業の交付金を活用した旧用務員棟を

「分校カフェ MOZART」に衣がえしてオープン。また、移住サポートセンターのサテライト施設として、移住希望者の相談受付にも対応する等、町としても高く評価しているところだ。

Q この旧下里分校と霜里学校との使用貸借契約も本年度で契約期間終了となるが、今後どうなるのか。

A 政策推進課長 既に霜里学校から契約の更新希望の申し出がありました。町としては、これまでの活動が評価できる内容であり、「分校カフェ MOZART」での新たな取り組みも始まったばかりであること、また何より地域住民との協調性に優れていることから、引き続き霜里学校を相手方に使用貸借契約を更新していきたいと考えています。



下里さくら祭りは天候に恵まれ、約3500人が来訪しました。

人口抑制には女性が生きて活躍することが大切。



たなかてるこ
田中照子 that 問う

女性活躍には子育て支援を

Q ココットは、来館者数も増え、土曜日には父親の利用もあつたとのこと。新たに「一時預かり事業」を開始したが、子育て世代への周知は。

A 子育て支援課長 ココット利用者に直接配布・町広報回覧で全戸にお知らせしました。町ホームページや子育て支援センターつうしんにも掲載しました。

AQ 現在、女性区長は1人である。女性区長誕生を進めるための取り組みは。防災地域支援課長 人口減少や少子高齢化が進む中、町の男女共同参画

プランで、行政区等、地域活動の組織など女性の参画の啓発を行なうとしています。

当町の人口減に対する見通しは

Q 5年前、当町は県で消滅可能性都市2番目であった。今回も新聞社の分析結果では同様となっている。今後の町の可能性は。

A 政策推進課長 分析によると消滅可能性都市とされた全国896市区町村のうち、約8割が人口減がより加速するとしています。当町は、5年前推計された2040年の総人口1万7212人にに対し、今回は2万263人で持ち直していると言えます。この結果を3年間の成果と捉え、引き続き人口減対策に資する各種の取り組みに邁進していきます。



働く女性の出産退職者は年20万人。子育て支援の充実が大切。



義務を果たし、権利を主張できる当たり前の世の中に！

しまざき たかふみ
島崎隆夫が問う

町民の期待に応える行政運営を

Q 18歳を成人とする改正民法が成立した。主権者教育の重要性を改めて感じる場所である。このたびの町長選挙での投票率や傾向をどのように捉え、対策を考えるのか。また、学校教育だけでなく、町民に対し、自らが社会の一員であり主権者であることを認識するような方法を考えてはならないと思うが。

A 総務課長ほか まず、現在のシステムでは細やかなデータをとれず、今後の課題であると考えます。学校教育では、主権者教育を社会科の授業はもとより、さ

まざまな場面を通して行なっています。また、社会全体で考えることも必要ですので、家庭・地域と連携して進めます。

近隣自治体との連携を

Q 本年4月より運行されたデマンドタクシーは、おおむね好評のようである。検証や改正を進めることで、よりよいものにしたい。さらに、今後研究すべきことは、近隣自治体と合同で公共交通を運営できないかということである。観光での連携や深谷市のアウトレットモールが及ぼす影響などを考えて、将来を見据えた動きが必要と考えるが。

A 都市政策課長 まず、近隣自治体の現状を把握し、小川町公共交通活性化協議会で協議したいと考えます。



選挙により、新たな任期を得た松本恒夫町長。期待に応える町政を！



スピード感を持って活動してよ。

しばさき まさる
柴崎 勝が問う

ホンダ移転に伴う協力体制は

Q 小川町総合運動場利用の見直しは。また、野球場予定地の今後の利用は。

A 生涯学習課長 総合運動場については、利用者の方から変更や改正の要望もないので、大きく見直しを行う予定はありません。また野球場予定地については、今後、利用ニーズの調査や必要な野球場の具体像の研究など、整備に向けて努めていきます。

Q ホンダ野球部に総合運動場・野球場予定地の活用について協力をお願いし、町も積極的に活用を考えては。

A 生涯学習課長 ホンダ狭山工場が寄居工場へ移転することは、町の活性化・発展にとってチャンスであると捉えています。総合運動場・野球場予定地については、既に本田技研 硬式野球部での活用をお願いしており、今後も引き続き要請していきます。

県道本田・小川線の開通は

Q 開通の予定時期は。

A 建設課長 県の事業なので明確にはお答えできませんが、県道熊谷・小川・秩父線交差点部から北側の町道228号線交差点部までの区間については、「優先して工事を進め先行して開通させたい」と伺っています。



ホンダの利用が待たれる野球場造成地。



多くのボランティア活動でポイ捨てなくぞつ。

おおとひさかず
大戸久一が問う

小京都おがわにふさわしい町を

Q 清流の槻川、兜川は草も伸び、水路や通学路周辺でごみのポイ捨てが多く見られる。地域での清掃活動の展開は。

A 環境農林課長 環境美化活動各種補助金を交付、支援していますが、ボランティア活動しやすい体制で、住みよい魅力あるまちづくりを推進していきます。

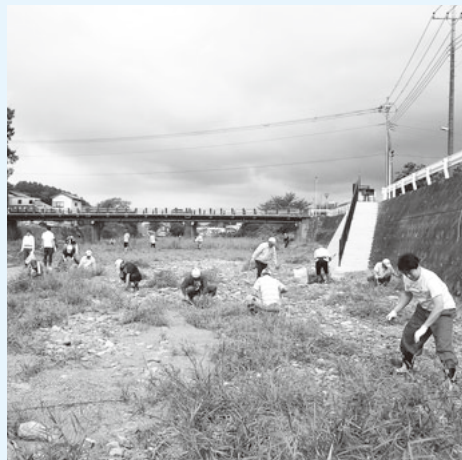
Q 環境美化推進委員会を中心に各地域でゴミ問題に取り組んでいるが、ポイ捨ては一向になくならない。例えば罰則規定を取り入れた「ポイ捨てゼロできれいなまちづくり条例」を制定すべきと考えるが。

A 環境農林課長 条例を制定し啓発していくことで、ごみのポイ捨て意識の改善を図るにはよいきっかけと考え、可能かどうか研究していきます。

活力ある老人会のあり方は

Q さまざまな友愛活動を行い、地域の活性化に大きく貢献しているが、老人会組織数、会員数とも激減している。今後のあり方について、町、議会、老人会でしっかり議論すべきと考えるが。

A 長生き支援課長 老人会は地域に密着した組織であり、地域を熟知し、多種多様な経験・豊富な知識・技術を持った集団であり、地域の大きな存在です。老人会のあり方については、関係機関と連携しながら方向性を議論していきます。



ボランティア団体による河川清掃活動。



公共施設やスーパーに行くミニバス

(S・Aさん・65歳)



駅周辺にサイクリストの待合場所

(K・Aさん・52歳)



小川町の魅力を感じることができる魅力あるお店

(U・Sさん・70代)



小さな子供がいても安心して外食できるようなお店

(Y・Tさん・30代)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」



歌を通して
成長します

大澤実結花さん
Miyuka Ohsawa
(下勝呂)

小川町の温もりのある人たちが好き、そして星空も大好きです。私は現在大学1年生ですが、6月までサークルや部活動に入っていませんでした。毎週きちんと活動できる自信がなかったからですが、友達が楽しそうにサークルの話をする姿を見て、私もこんなふうになりたいという気持ちになり、大学の合唱サークルに入りました。入部した理由は、そのサークルが掲げる「Sing for Happiness」という指針に感動したからです。この指針には「目の前のお客様に希望と勇気を届ける。お客様だけでなく、部員一人一人を想いながら歌う」という意味が込められています。サークルに入ってまだ日は浅いですが、メンバーとともに歌を通して、これから自身を成長させます。そして今日もまた大学から帰ってくると、夜空の星にホッと癒やされています。

私は、四季折々に花を育てられる環境にある小川町に移り住み、はや30年の月日がたち、昨年の春、幸い大病もせず無事教員生活を終え、退職の運びとなりました。

さて、これからの自分に何ができるかを考えている折に、小川町の広報で「放課後子供教室ボランティア募集」を知り応募し、本年度小川小学校区に開室した放課後子供教室「あおこすおがわ」(昨年度は大河小学校に「おおかわキッズ」が開室されている)のスタッフの一員として、小学校の休校日と短縮日課で給食のない日を除く、毎週月曜日の午後2時～5時まで、主に「自主的な学習の支援をする」ことを中心に活動しています。これからも、子供とともに勉強を続けたいと思っています。

放課後子供教室のような支援活動の輪やボランティア活動の輪が広がることを願っています。



ボランティア
活動に参加して

小森 喬さん
Takashi Komori
(中爪グリーンヒル)

87号の記事中に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。
P.16 金子美登議員の一般質問 前から8行目 誤：販売農家数 → 正：販売農家数

傍聴から はじめよう!!

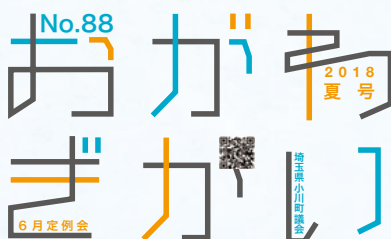
どなたでも傍聴できます
(事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は

9月3日(月)~
開会は**10時**です



傍聴席の
定員は
40名



No.88

小川町議会だより
平成30年6月定例会夏号
(9月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 松本修三

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫

編集後記

9月1日は防災の日。7月の西日本豪雨は各地で甚大な被害に見舞われた。そんな中でも、普段から住民同士で備えを進めて全員が助かった集落もあった。世話役が集落を一軒一軒回り、避難の準備をするよう声をかけた。避難勧告が出ると、すぐに避難所へ向かうよう呼びかけた。「人」とのかかわりが希薄になっている昨今、いざというときに自分の命を守ってくれたのも「人」。いま一度地域コミュニティの大切さを考えるときでは。(高橋さゆり)

